

唯一の炭素源とする培地で著明な増殖を示し、その Logarithmic phase が至短日時に完了することは、本菌が如何によくこれを資化し得るものであるかを物語っている。なお本菌が、あぶらに及ぼす影響も大きく、進続培養への示唆を得るとともに、代謝産物への期待も大である。

A—46 炭化水素資化性菌の食用油脂に対する挙動  
(第2報) —しょうゆあぶらに対する  
挙動について—

相愛女短大 ○小原 国彦  
玉置ミヨ子

1. しょうゆ製造時、副産物として得られる、しょうゆあぶらは、相当多量であるにも拘らず、その利用については、わずか機械油、塗料などの原料として利用されるのみで、その食品利用に関する研究は、あまり見受けられない。演者等は前大会に於て、大阪周辺の土から分離した。炭化水素資化性菌の KY-II 株を用いて、変敗したサラダオイルの資化に関する発表をしたが、此の度、本菌のしょうゆあぶらに対する挙動を見、これを酵母菌体として十分回収できることを見るとともに、培養中、あぶらに与える影響を検討し更に代謝産物についても期待し得ることが推測できたので報告する。

2. 炭化水素資化性酵母 KY-II の、しょうゆあぶらを唯一の炭素源とする培地に於ける生育状況及びこれがしょうゆあぶらに与える影響を、酸価、過酸化価、水層部 pH、等について経時的に検討し、ケン化価、不ケン、化物含有量、脂肪酸等の培養による変化をも検討した。

3. しょうゆあぶらは、特異的な性状を具え、このままでは食用に耐えない。KY-II 株は、しょうゆあぶらを